

日立金属株式会社

2015年度第3四半期累計決算説明

2016年 1月28日

*Towards
Innovative
Growth*



需要 動向

世界経済の停滞感を受けて全体として弱含みで推移
年明け以降は、中国経済減速の鮮明化、為替の円高、
原油安など、先行き不透明感が増している

- 自動車は米国は堅調、国内・中国・新興国の一部で調整継続
- 産業インフラ関連は鉄鋼が軽自動車減産やアジア需給の悪化に伴う在庫調整を背景に減少、国内住宅着工は回復も公共投資は減少
- エレクトロニクス・情報システム関連は調整が継続

特殊 要因

事業ポートフォリオ入れ替えによる一時的利益を計上

- 事業再編等利益 302億円(旧日立ツール株式売却関連等270億円)

1-2. 2015年度第3四半期業績概要

IFRS

(金額単位:億円) ()は利益率	14年度 3Q累計実績 1\$=106.87円	15年度 3Q累計実績 1\$=121.70円	増減	
売上収益	7,164	7,729	+8%	Waupaca社連結化等により増収
調整営業利益	(8.2%) 589	(7.0%) 542	△47	情報・エレクトロニクス等の売上収益の減少により、前年同期比47億円減
その他の収益	99	338	+239	事業再編等利益302億円計上 (うち日立ツール株式売却関連270億円)
その他の費用	△114	△88	+26	
IFRS営業利益	(8.0%) 574	(10.2%) 792	+218	
利息・その他の金融収益等	44	△15	△59	
税引前四半期利益	618	777	+159	
法人所得税費用	△131	△217	△86	
四半期利益	487	560	+73	
親会社の所有者に帰属する当期利益	478	556	+78	
海外売上収益比率 *1	45%	56%	+11%	Waupaca社連結化等により増加
人員	30,731	29,167	△1,564	

*1 海外売上収益地域別構成比

15/3Q: 北米31%、アジア19%、欧州4%、その他2%

14/3Q: 北米16%、アジア22%、欧州5%、その他2%

1-3. 2015年度第3四半期 セグメント別業績

IFRS

		14年度 3Q累計実績 1\$=106.87円	15年度 3Q累計実績 1\$=121.70円	増 減	
(金額単位:億円) ()は利益率					
高級 金属製品	売上収益	1,938	1,831	△5%	旧日立ツール株式売却に伴う連結除外影響額約△150億円
	調整営業利益	(12.2%) 236	(11.1%) 204	△32	上記連結除外等の影響もあり減益
	セグメント利益	(13.5%) 261	(25.6%) 468	+207	株式売却に伴う事業再編等利益270億円計上
磁性材料	売上収益	1,018	916	△10%	産業機器・家電関連の需要減等により減収
	調整営業利益	(11.4%) 116	(7.5%) 69	△47	売上減、原材料評価減影響等により減益
	セグメント利益	(11.3%) 115	(7.4%) 68	△47	
高級 機能部品	売上収益	1,769	2,769	+57%	北米需要堅調、Waupaca社連結化等で大幅増収
	調整営業利益	(6.9%) 122	(7.2%) 198	+76	Waupaca社連結化等により大幅増益
	セグメント利益	(6.0%) 106	(6.7%) 185	+79	
電線材料	売上収益	2,456	2,192	△11%	情報システム関連の需要減少が継続
	調整営業利益	(6.4%) 157	(5.2%) 115	△42	
	セグメント利益	(6.6%) 162	(5.7%) 126	△36	14/1Qは事業譲渡益を計上(39億円)
その他 ・調整額	売上収益	△17	21	—	
	調整営業利益	△42	△44	△2	
	営業利益	△70	△55	+15	
合 計	売上収益	7,164	7,729	+8%	
	調整営業利益	(8.2%) 589	(7.0%) 542	△47	
	営業利益	(8.0%) 574	(10.2%) 792	+218	

1-4. セグメント別業績：高級金属製品

(金額単位:億円) ()は利益率	14/3Q累計	15/3Q累計	増減	補足
売上収益	1,938	1,831	△5%	旧日立ツール株式売却に伴う連結除外影響額約△150億円
調整営業利益	(12.2%) 236	(11.1%) 204	△32	旧日立ツール連結除外影響等により減益
セグメント利益	(13.5%) 261	(25.6%) 468	+207	事業再編等利益270億円計上(旧日立ツール株式売却関連)

(単位:億円)

売上収益の状況

■特殊鋼

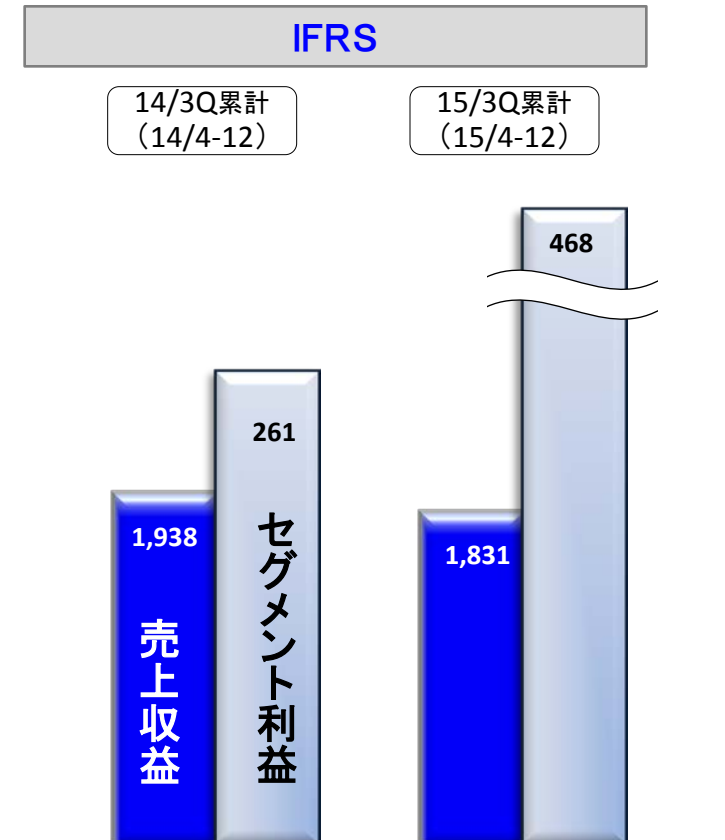
- ・工具鋼：中国、ASEAN向けが減少したが、国内向けは自動車向け金型材が堅調に推移し、また高付加価値品への製品構成シフトが進んだ結果、前年同期並みの水準を確保
- ・産業機器材料：海外向けのその他産業部材は堅調に推移したが、自動車関連材料の一部で調整が継続したため、前年同期比で減少
- ・航空機関連材料およびエネルギー関連材料：堅調な需要動向が続いたことに加え、14/2Q連結会計期間から日立金属MMCスーパーアロイ株式会社が連結子会社となったことに伴う業績反映もあり大幅に増加
- ・電子材料：ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料とも前年同期を下回る

■ロール

- ・各種ロール：輸出の伸長により増加
- ・射出成形機用部品：大型機向け需要を中心に堅調に推移し前年同期並

■アモルファス金属材料

主要市場である中国向けの減少により、前年同期比で下回る



1-5. セグメント別業績： 磁性材料

(金額単位:億円) ()は利益率	14/3Q累計	15/3Q累計	増 減	補 足
売上収益	1,018	916	△10%	産業機器・家電関連の需要減等により減収
調整営業利益	(11.4%) 116	(7.5%) 69	△47	売上減影響等により減益
セグメント利益	(11.3%) 115	(7.4%) 68	△47	

(単位:億円)

売上収益の状況

■マグネット

・希土類磁石:

電動パワーステアリングおよびハイブリッド自動車向けなどの自動車用電装部品の需要が堅調に推移したが、産業機器および家電関連の需要が減少したことから前年同期を下回る

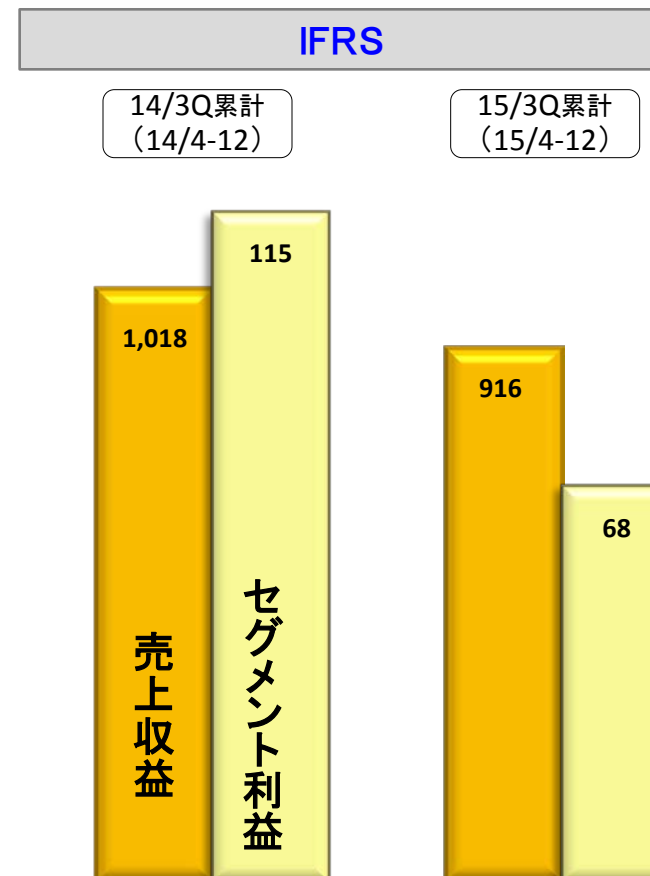
・フェライト磁石:

自動車用電装部品および家電用部品の需要が国内、海外ともに堅調に推移し増加

■軟質磁性材料・応用品

フェライト応用品は太陽光発電用部品向けが減少し、フェライトコアも中国向け需要の減速の影響を受け低調

ファインメットは自動車用電装部品向けの需要減、およびエアコンの生産調整により減少



1-6. セグメント別業績： 高級機能部品

(金額単位:億円) ()は利益率	14/3Q累計	15/3Q累計	増 減	補 足
売上収益	1,769	2,769	+57%	北米需要堅調、Waupaca社連結化等により大幅増収
調整営業利益	(6.9%) 122	(7.2%) 198	+76	Waupaca社 連結化等により大幅増益
セグメント利益	(6.0%) 106	(6.7%) 185	+79	

売上収益の状況

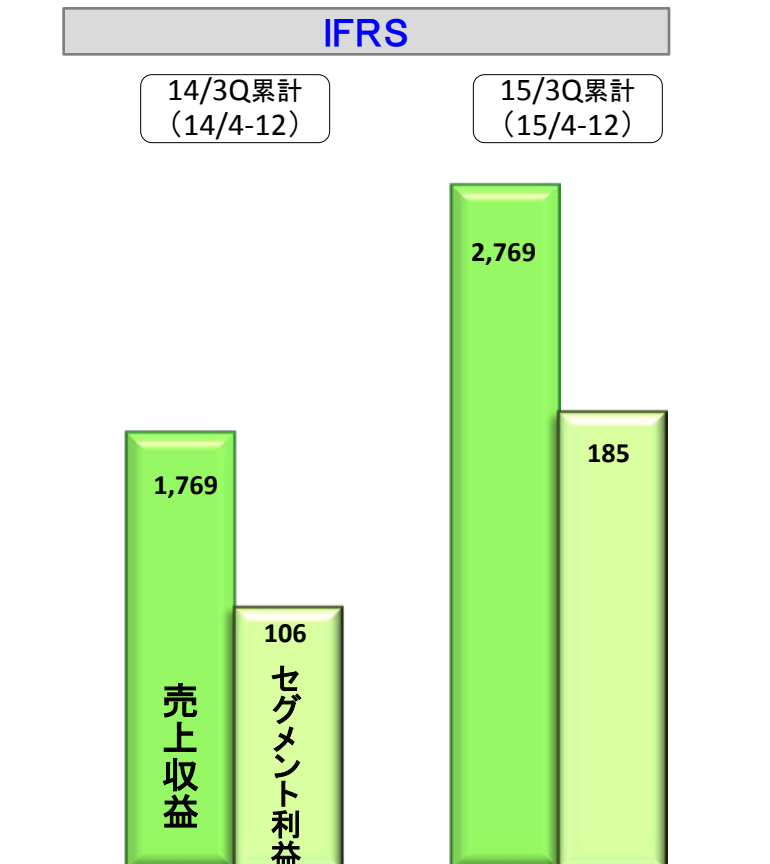
■自動車用鋳物

- ・**鋳鉄製品:**
Waupaca社の連結化により、自動車用鋳物全体として大幅な増収増益
- ・**耐熱鋳造部品:**
年度前半に一時的な需要調整があったが、年度後半から欧州市場に加えて北米市場向けも増加し、前年同期比で増加
- ・**アルミホイール:**
米国を中心に好調に推移し、前年同期比で増加

■配管機器

- ・**鋳物継手類:**
国内向けは減少したが、北米市場が好調だったことにより、全体としては前年同期並
- ・**ステンレス及びプラスチック配管機器:**
国内需要が踊り場にあり、前年同期比で減少

(単位:億円)



1-7. セグメント別業績：電線材料

(金額単位:億円) ()は利益率	14/3Q累計	15/3Q累計	増減	補足
売上収益	2,456	2,192	△11%	情報システム関連の需要調整が継続
調整営業利益	(6.4%) 157	(5.2%) 115	△42	
セグメント利益	(6.6%) 162	(5.7%) 126	△36	14/1Qに事業譲渡益を計上(39億円)

(単位:億円)

売上収益の状況

■電線

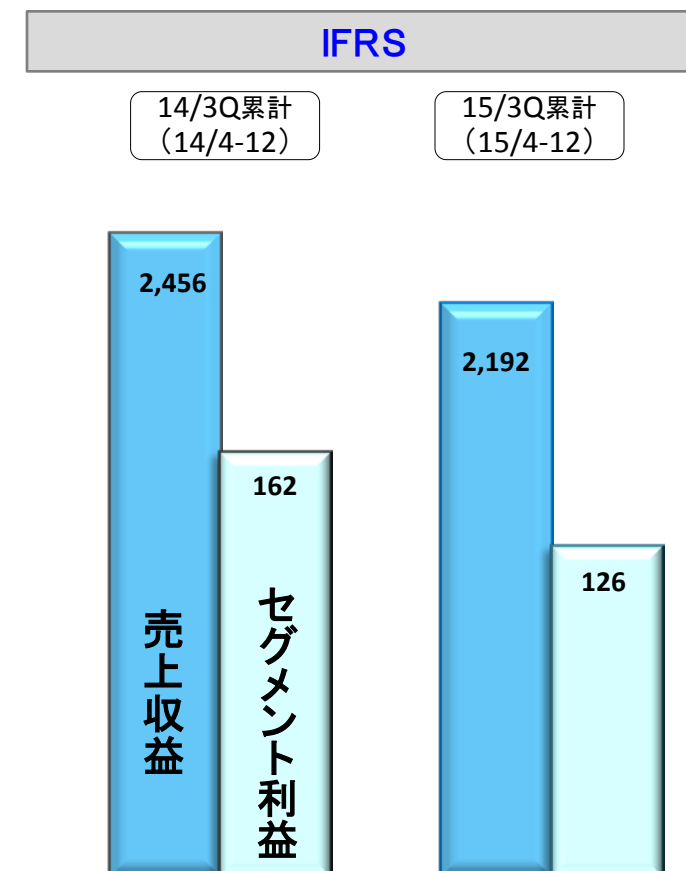
事業ポートフォリオ見直しに伴い売上収益が減少
注力分野である鉄道車両用電線は海外市場向けを中心に大きく伸長
医療用プローブケーブルも堅調

■自動車用部品

北米を中心に自動車の旺盛な需要が続き、電装部品、ブレーキホースとも
好調に推移したため、前年同期比で増加

■情報システム

通信事業者の設備投資の調整が継続し、ネットワーク機器、ワイヤレス
システムとも低調に推移し、前年同期を下回る



1-8. 資産/負債・純資産

(単位:億円)

科目	15年3月末	15年12月末	増減
現金および現金同等物	790	1,057	+267
売上債権	2,205	1,946	△259
棚卸資産	1,665	1,598	△67
その他流動資産	787	458	△329
非流動資産	5,388	5,543	+155
資産合計	10,835	10,602	△233
有利子負債	2,554	2,394	△160
買入債務他	1,811	1,613	△198
その他負債	1,708	1,458	△250
負債合計	6,073	5,465	△608
親会社株主持分	4,664	5,040	+376
非支配持分	98	97	△1
資本の部合計	4,762	5,137	+375

(D/Eレシオ)	0.55	0.48	△0.07
----------	------	------	-------

15年3月末対比
資産合計233億円減少

D/Eレシオ 0.55 → 0.48

【資産】 15年3月末比 233億円減少

- ・棚卸資産削減活動により67億円減少
- ・2015年4月1日付けで旧日立ツール株式売却による減少286億円(その他流動資産)

【負債】 15年3月末比 608億円減少

- ・有利子負債の返済によりD/Eレシオは0.48(△0.07改善)
- ・2015年4月1日付けで旧日立ツール株式売却による減少103億円(その他負債)

【純資産】 15年3月末比 375億円増加

1-9. 連結キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

科 目	14/3Q累計	15/3Q累計	増 減
第3四半期利益	487	560	+73
減価償却費	279	321	+42
運転資金の増減	0	69	+69
その他	△139	△320	△181
営業キャッシュ・フロー	627	630	+3
固定資産の取得	△313	△431	△118
その他	△774	340	+1,114
投資キャッシュ・フロー	△1,087	△91	+996
フリーキャッシュ・フロー	△460	539	+999
借入金・社債の増減	280	△141	△421
配当金支払 他	△91	△115	△24
財務キャッシュ・フロー	189	△256	△445
為替変動影響	67	△17	△84
現金及び現金同等物の増減額	△204	267	+471
現金及び現金同等物の期末残高	725	1,057	+332

【営業キャッシュ・フロー】

第3四半期利益の増加等により、前年同期に対し、3億円の増加

【投資キャッシュ・フロー】

14年度はWaupaca社株式取得があったことに対し、15年度は成長基盤の強化に向けた設備投資による支出が増加したものの旧日立ツール株式売却による収入(270億円)があったこと等により前年同期に対し996億円の増加

【財務キャッシュ・フロー】

14年度はWaupaca社株式取得の資金調達をしたことに対し、15年度は配当金支払額が増加したこと等により、前年同期に対し445億円減少

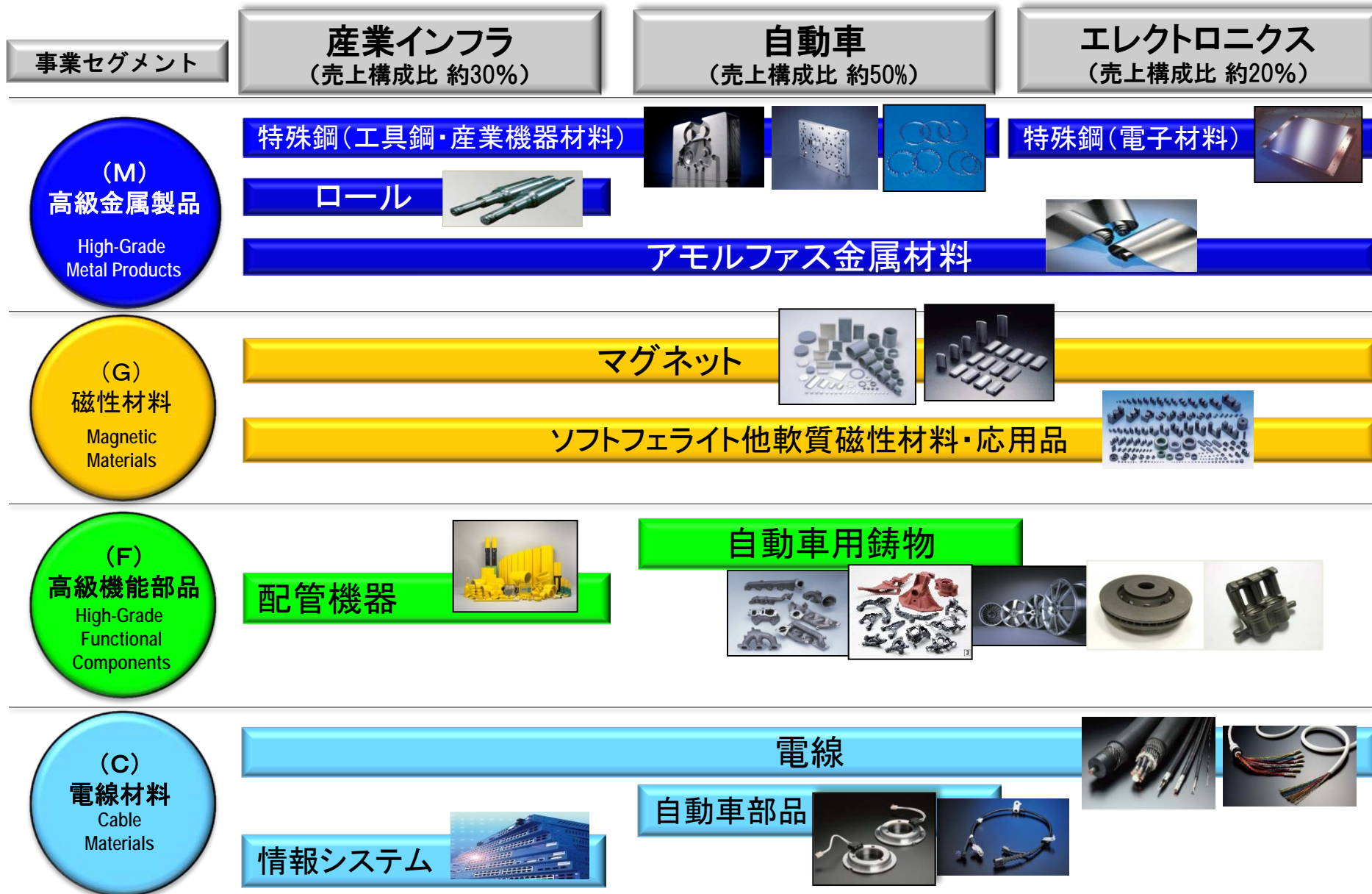
1-10. 2015年度セグメント別業績予想

(単位: 億円)

		15年度 3Q実績 1\$=121.50円	15年度 3Q累計実績(A) 1\$=121.70円	15年度 年度予想(B) 1\$=121.00円	(B)-(A)
高級 金属製品	売上収益	588	1,831	2,480	649
	調整営業利益	68	204	286	82
磁性材料	売上収益	292	916	1,220	304
	調整営業利益	19	69	108	39
高級 機能部品	売上収益	879	2,769	3,690	921
	調整営業利益	61	198	285	87
電線材料	売上収益	716	2,192	2,990	798
	調整営業利益	43	115	165	50
その他 調整額	売上収益	4	21	20	△ 1
	調整営業利益	△ 11	△ 44	△ 74	△ 30
合計	売上収益	2,479	7,729	10,400	2,671
	調整営業利益	180	542	770	228

2015年度業績予想は前回(2015年10月27日)公表の予想数値から変更してありません。





(参考) マーケット分野別事業構造



(参考)日立金属 セグメント別事業内容

事業セグメント

主要製品

事業セグメント	主要製品
	高級金属カンパニー 特殊鋼 高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]: 工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密鋳造品
	ロール 各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	アモルファス金属材料 アモルファス金属材料[Metglas®]
	磁性材料カンパニー マグネット (希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石・その他各種磁石およびその応用品) 軟質磁性材料(ソフトフェライト、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®])およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]応用品、情報通信機器用材料・部品、医療機器用材料・部品
	高級機能部品カンパニー 自動車用鋳物 自動車用鋳物(高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品
	配管機器 設備配管機器(®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
	電線材料カンパニー 電線(電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム製品)、自動車部品(電装部品、ブレーキホース)、情報システム(情報ネットワーク、ワイヤレスシステム)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動